

令和3年度 第1回 学校運営協議会 議事録

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 校名  | 府立富田林高等学校<br>府立富田林中学校    |
| 校長名 | 高等学校長 栗山 悟<br>中学校長 大門 和喜 |

|         |                                                            |
|---------|------------------------------------------------------------|
| 開催日時    | 令和3年6月24日(木) 15:12 ~ 17:06                                 |
| 開催場所    | 府立富田林中学校・高等学校 SSラボ                                         |
| 出席者(委員) | 津田会長、森田副会長*、大谷副会長*、金銅委員、易委員、光山委員、岡田委員 (*オンライン出席)           |
| 出席者(学校) | 栗山高校校長、大門中学校長、市口高校教頭、岡本中学教頭、松井事務部長、他 事務局員                  |
| 傍聴者     |                                                            |
| 協議資料    | 「令和3年度学校の取組みの重点」<br>「令和2年度CS関連事業活動報告」<br>「令和3年度LHR等計画(前期)」 |
| 備考      |                                                            |

議題等(次第順)

○報告

- ・高校の組織改編
- ・中学における生徒支援・学力向上
- ・中高のパンフレット・HPの刷新
- ・「富田林中学校・高等学校学校運営協議会実施要項」及び構成員について
- ・令和2年度CS関連事業実績報告
- ・教科用図書選定(中間報告)
- ・中学校の制服について

○協議

- ・令和3年度CS関連事業活動計画について
- 未来に向けたコミュニティ・スクール構想、フリースクール(トゥルーカラーズ)について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○未来に向けたコミュニティ・スクール構想について

- \* 外部から資金等の面で援助を受けるために
  - ・「探究」で活躍した生徒が世界に羽ばたき地域に戻って活躍すれば、地元企業も協力してくれる。
  - ・企業に対して生徒の意見・アイデアを商品として提案するなど、win-winの関係にならないといけない。
  - ・企業は社会貢献を意識して経営しているので、企業理念を分析した上で提案するのが近道。
- \* CSネットワークにおける瞬発性を高めるために
  - ・現在のネットワーク、特にグローバルな分野では個でのつながりが多い。
  - 組織的に取り組むために、同窓会等とのワーキンググループでの検討を経て、拠点化するのも大切。
  - ・海外の学校と交流しているが、国内の学校ともダイナミックにつながるようになればよい。

○フリースクール(トゥルーカラーズ)について

- ・富校で不登校になる生徒には、複数のタイプがある。
- それぞれのタイプに合わせるために、できるだけ早く接触して対応していくのがよい。
- ・中学とは連携が取れているが、高校の情報はあまり入ってこないようだ。
- 高校段階でもできることがあるので、高校との情報共有ができればよい。

※「フリースクールとの提携(出欠・成績・考査監督等の扱い)を継続する」ということを承認。

次の会議日程

|    |                     |
|----|---------------------|
| 日時 | 令和3年12月1日(水) 15:00～ |
| 会場 | 府立富田林中学校・高等学校 SSラボ  |